



発行 自衛隊札幌病院
豊友会事務局

第72号
令和5年8月



「期待と責務」

自衛隊札幌病院長

陸将 鈴木 智史

常日頃から、豊友会鳥越俊彦会長はじめ会員の皆様には、自衛隊札幌病院の任務遂行にご理解を賜るとともに、ご支援ご協力を頂き、職員一同感謝申し上げます。

6月11日に、自衛隊札幌病院創立68周年記念行事を実施し、豊友会のご支援を得て、病院敷地西側角に、念願の記念植樹を実施しました。このエゾヤマザクラは今後の自衛隊札幌病院の発展をしっかりと見守ってくれる

と思います。また夕方には、4年ぶりの豊友会主催懇親会に約40名の職員をお招き頂き、会員の皆様と懇親を深めると同時に、現在の札幌病院の任務遂行状況をご理解頂くことができたと思います。深く御礼申し上げます。

現在、国際情勢は、ロシアによるウクライナに対する侵略によって、これまでとは次元の異なるレベルで、不確実性・複雑性を増大させています。また、軍力を増強しつつ軍事活動を活発化する、中国、北朝鮮、ロシアに囲まれる我が国は、戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面しています。このような中、昨年12月に「戦略3文書」が閣議決定され、我が国の抑止力・対処力を一層向上させるため、抜本的な防衛力の強化の方針が示されました。衛生分野においては、隊員の壮健性の維持に加え、有事における第一線から最終後送先病院までのシームレスな医療・後送態勢を構築し、隊員の生命・身体を救うことがより重視されるなど、「衛生機能の変革」を確実に進めることが求められています。

自衛隊札幌病院も、北部方面隊の固有の2つの任務である、北海道の防衛警備と道外へ緊急展開し所期の任務完遂に最大限寄与する必要があります。中核型基幹病院・急性期病院として病院診療を更に充実させ、衛生科隊員等の人材育成拠点としての役割を果たすとともに、衛生隊等との訓練を積極的に実施して、北部方面隊の衛生支援能力を着実に向上できるように、今年度は各種訓練や事業を実施する予定です。現場において可能などころから「衛生機能の変革」を実行し、国民の「期待」に応え、その「責務」を全うできるよう、職員一丸となって一層努力していきたいと思ひます。

引き続き、豊友会の皆様におかれましては、ご支援ご協力の程、よろしく御願ひ申し上げます。



「豊友会長の挨拶」

自衛隊札幌病院豊友会

会長 鳥越 俊彦

会長2年目を迎え、ご挨拶を申し上げます。本年はコロナ禍が明けた最初の年、すなわちポストコロナ元年と言えます。2020年から3年間続いた歴史的なパンデミックは社会に大きな変革をもたらしました。医学教育の世界においても例外ではなく、対面講義を必要としないウェブセミナーやeラーニングの普及と標準化は、生涯学習に大きなベネフィットをもたらしています。そのような中、今年度から5年間、札幌医科大学を基幹大学と

する、北海道大学医学部・旭川医科大学・北海道医療大学の北海道医育大学連合が、文部科学省の「次世代がプロフェッショナル養成プラン」事業に採択されました。全国11拠点の1つです。この事業の最大の特徴は、大学院の学生だけでなく、地域の病院に勤務する医師やコメディカルの皆さんも、専門知識を身につけるための講義を、ウェブセミナーやeラーニングで遠隔受講できることにあります。北海道のどこで勤務していても、日進月歩の最新医学知識を学ぶ機会が得られるのです。がんゲノム検査、がん化学療法、がん免疫療法、緩和ケア、がん性疼痛看護、がんの理学療法など、さまざまなメニューが用意される予定ですので、豊友会会員の皆様にもご利用いただき、キャリアアップと生涯学習に役立てていただきたいと思います。

自衛隊札幌病院は、北海道立の札幌医科大学卒業生が中心となって築き上げられた歴史があります。防衛医大卒業生が中心となって発展しつつある現在ですが、北海道医育大学連合との密接な連携と交流、ネットワークの形成は、医療だけでなく、教育や研究においても極めて重要です。札幌医科大学には訪問研究員制度という優れた制度があり、申請して承認されれば、無料で図書館やさまざまな教育・研究リソースを利用できるばかりでなく、学位取得に必要な研究歴の蓄積や科研費申請資格を得ることもできます。大学院医学研究科には博士課程だけでなく修士課程もあります。また、大学院保健医療学研究科には看護学専攻と理学療法学・作業療法学専攻があり、社会人の入学にも門戸を開いています。キャリアアップを目指している会員の皆様におかれましては、遠慮なくご相談ください。

コロナ禍を経験して学んだことは、「あたりまえと思っていた日常は、実はあたりまえではなく、とても幸運でありがたい日常だった」という教訓ではないでしょうか。チャンスは幸運の1つです。見逃すことなく、果敢にチャレンジして、幸運をつかみ取りましょう。会員皆様の豊かな人生を願ってやみません。

《人事異動等》



診療技術部長
2等陸佐 坂本 直子

令和5年8月1日付で診療技術部長に任命されました。
これまでは診療科医官として日常の診療や教育訓練に、総務部健康管理課長として各種健康診断等に従事してきました。

主に診療について一つずつ確実に行うことで、来院された方の健康維持に寄与できるように、あわせて診療に関わる場面での職員等の教育、技術の維持向上に努めていきたいと考えています。

日常では隊員や近隣住民の方の診療が主体であり、部隊訓練とは若干雰囲気異なるようにもみえますが、現在目の前にある業務が有事の際にどのような場面で登場しうのかなかをそれぞれの場面で考えて、日常業務をおこないつつ、有事も落ち着いて活動できるよう、少しずつ勉強していきたいと思っております。

宜しく願い申し上げます。



准看護学院長
1等陸佐 本間 健一

令和5年8月1日付で准看護学院長を拝命しました本間1佐です。前職は札幌病院小児科部長を兼ねて医療安全評価官、感染制御チーム(ICT)長として勤務し、札幌病院8年目になりました。その間、大きな医療事故なく全うできましたが、COVID-19には病院全体で立ち向き合うこととなりました。その影響を受けて小児患者の受診状況も大きく変わり、様々な変化に対応しつつ勤務しております。

今回、自衛隊衛生の核となる衛生救護陸曹を養成する准看護学院に学院長として上番出来ることに、大きな喜びと重責を感じています。前学院長のもと学院職員・学生が培ってきた「ビジョン」を認識統一し、「学院一丸」で准看護学院生が大きく羽ばたいていけるように「日々前進」していきたいと考えています。今後も諸先輩方からのご指導及び病院職員皆様からのご協力をよろしく願いいたします。



救急科部長
1等陸佐 永田 高志

令和5年8月1日付で自衛隊中央病院救急科から自衛隊札幌病院救急科部長として着任しました。実は公募医官制度を通じて2021年10月1日付で自衛隊に入隊しました。私は1997年九州大学医学部を卒業し、九州の各病院で救急の研鑽を積み、2012-2021年まで母校の九州大学医学部大学院で教官として災害救急医学の研究を行いつつ、九州大学病院救命救急センターでの勤務に従事しておりました。また2012年から予備自衛官として熊本県健康軍駐屯地の集合訓練や鎮西演習に毎年参加しておりました。

最初の赴任地である自衛隊中央病院では救急車の受け入れ台数が年間6000台であり都内の厳しい救急医療の現場に身を置くことができて大変勉強になりました。

特技は合気道です。試合がなく無理なくできるので30年続けてきました。今までの知識や経験を生かして、自衛隊札幌病院に少しでも貢献できるよう努力してまいりたいと思います。皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



歯科部長
1等陸佐 杉本 淳

令和5年8月1日付で自衛隊中央病院から歯科部長に着任しました。

20年ぶりの北海道勤務となり、発展し大きく様変わりした街並みに驚き、そして、当時東千歳にて一緒に勤務した旧友をはじめ、東北方や東方の部隊で共に汗を流した仲間とともに、自衛隊札幌病院で勤務できることを大変光栄に思っております。

自らに課せられた使命を自覚し、新しい仲間と共に常に何が最良であるかを考えつつ、自衛隊員、隊員家族そして地域住民の皆さんに対して、歯科治療のみならず、予防歯科学的見地から口腔衛生に寄与することで「心の通う信頼される病院」の一員となれるよう日々精進していく所存ですので、諸先輩方からのご指導・ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

《行事紹介》

《SHGC便り》

SHGC(札幌病院ゴルフクラブ)は、令和五年六月十八日(日曜日)にシャトレゼ札幌(栗山町)において、令和五年第三回ゴルフコンペを開催しました。

初夏の清々しい晴天の中、参加選手二十四名が実力を遺憾なく発揮して、和気あいあいの中、盛会のうちにコンペが成立しました。

コンペ終了後昼食会を兼ねて表彰式を執り行いました。

その結果、寺尾雅彦選手がネットスリーアンダーと他を圧倒して優勝し、次いで中田浩嗣選手がツアーアンダーで準優勝となりました。

寺尾選手は、優勝コメントにおいて「久しぶりの優勝となりました。ありがとうございました。今後も優勝を目指していきたい。」と今後の意気込みを込めて優勝者にふさわしい優勝コメントを頂きました。

加えて、大会当日、上田保選手がエージシュートの偉業を達成しました。おめでとうございます。

(※エージシュートは、ゴルフの一ラウンドでプレーヤーが自分の年齢と同じあるいは年齢以下のスコアで18ホールすべてをまわりきることをいいます。)

コンペは十月まで月一回行っています。

豊友会員皆様のご参加をお待ちしております。

文責 豊友会員 町田陽信



参加者全員で記念写真



表彰式(優勝寺尾選手、準優勝中田選手)

病院創立68周年記念行事及び豊友会主催懇親会

令和5年6月10日(土)自衛隊札幌病院(病院長 鈴木陸将)は、自衛隊札幌病院創立記念行事を挙行し、9名の来賓のご臨席を賜り、記念式典と新病院開院8周年記念植樹及び病院歴史資料等に関する展示を実施した。

鈴木病院長は式辞で、新型コロナ感染症5類化に伴う生活・行動様式が大きく変化する中、この1年間、与えられた任務をしっかりと果たし、着実に歩みを進めることができたことに対し、使命感をもって勤務し、その原動力となった、職員一人一人に感謝と敬意を表した。

今後も、自衛隊札幌病院が、各種事態に「即応」し、環境の変化に適切かつ柔軟に対応できるよう「進歩」し、「誇り」と使命感をもって、国民の期待に応えるという責務をしっかりと果たせるよう、職員一同の力を集結して、「信頼される自衛隊札幌病院の創造」に邁進していくと述べた。

また、同日夜には豊友会が主催する懇親会が、ホテルライフオート札幌で盛大に行われた。



病院職員集合写真



新病院開院8周年記念植樹



豊友会主催の懇親会

思い出深い2つの大地の驚くべき変容

会員 西川 博

令和4年10月半ば、自衛隊北方総監部70周年記念行事に招待されたので、2泊3日で札幌に行った。

札幌は思い出の詰まった土地であったからでもある。2009年まで4年間勤務した自衛隊札幌病院が、真駒内に移転したので、元あった病院跡地がどうなっているかも気になっていた。病院敷地は札幌駅から地下鉄で10分くらいの緑豊かな5万㎡の広大な土地であった。

2015年に自衛隊札幌病院が移転した後もそのままになっていた。2、3年前に行った時も跡地にトド松や白樺の林を見渡せた。60年の歴史を刻む記念碑、リンゴやナナカマド等の記念樹も近くに見えていた。

ところが今回現地について見て驚いた。緑の並木や今まであった建物はなくなり、区画された土地にショッピングセンター、個人病院、32戸の戸建て住宅が建ち、228戸ある大きなマンション2棟が工事中であった。春に咲いていた福寿草やカタクリも厚いアスファルトの下に埋められていた。

完成すると札幌リードタウンという賑やかな近代的な街になるらしいが、私の心は古里を失くしたような気持だった。

話は変わるが、熊本の土地の変容ぶりにも驚嘆することがあった。私の母の実家は原水という田舎の農家で、小学生の夏休みはそこで過ごしていた。背後は小高い台地があり、桑、サツマイモ、タバコ、野稻等の畑があった。小学生の私は馬車に乗せられ草取りに駆り出されていた。

その原水に台湾の半導体の会社TSMCが進出してくることを知り、昨年3月3日何十年ぶりに車でその畑に向かった。

その土地はブルドーザーの行きかうTSMCの巨大な造成地になっていた。

それから9か月経った今、令和5年末の完成をめざし、建物群の工事が急ピッチで進められている。遠くから眺めるとクレーンが20本ばかり聳える様は壮観でさえある。馬車で行き来したあの長閑な風景はなくなっていた。模範的な新しい街や、近代的な工場にその地が生まれ変わるのには、地域の発展に喜ばしい事に違いない。しかし過ごしてきた土地の面影が無くなっていくのは寂しくもある。再開発されていく中にその土地の自然を感じさせてくれる心とむ場所を作ってもらうことを願うばかりである。

「2023年2月28日のニュース：「国産先端半導体のラピダス、北海道千歳に新工場2027年に量産計画、札幌ドーム18個の広さ」というビッグニュースに触れました。

熊本はすでに台湾の巨大半導体会社TSMCが進出し、2024年度の量産体制を目指し今、工事が急ピッチで行われています。設備投資額約1兆円近くになるというのですからその経済的効果は絶大なものと期待されています。それに勝るとも劣らないラピダスの千歳での工場建設は、千歳市は勿論、北海道の経済を潤すことでしょう。千歳に大型半導体工場が建設という共通の吉報に私も嬉しくなり、今年の年頭の感慨を述べた記事を、豊友の皆様にも是非読んでほしいと思い同封いたしました。

北海道・九州が最先端半導体の基地として共に発展し。魅力的で豊かな故郷になっていくことを祈ります。

令和5年3月9日 第22代札幌病院長
西川 博

豊友会事務局便り

事務局長 三井康照

1 事務局長挨拶

会員の皆様には、日頃から自衛隊札幌病院豊友会の活動にご協力いただきありがとうございます。
新型コロナウイルスの感染状況は小康状態となり、3年ぶり開会の「自衛隊札幌病院創立68周年記念祝賀会・自衛隊札幌病院豊友会懇親会」も歴代病院長のお歴々のご参加を得て、盛大に開催することができ、現職とOBとの親交を深める事ができました。開催に向け、ご支援ご協力いただきました皆様あに改めまして御礼申し上げます。

残暑も厳しい折、会員皆様並びにご家族様のご健勝を祈念申し上げますとともに今後ともご指導・ご協力よろしくお願いたします。

2 活動状況

(1) 令和4年度役員会・臨時総会

令和5年6月10日（土）26名の役員の参加を得て自衛隊札幌病院会議室において、令和5年度豊友会役員会を開催。新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から昨年に続き、本役員会を臨時総会として開催し、令和4年度事業報告・収支決算報告及び令和5年度の事業計画・予算計画等を審議・承認いたしました。

(2) 自衛隊札幌病院創立68周年記念行事（令和5年6月10日）

会長並びに各副会長が参加

(3) 慶弔等

慶 事（7名）

米寿：2名：三浦直正 様（S10. 7. 9）、武田 宏 様（S11. 3. 26）

傘寿：5名：濱田 寧 様（S18. 6. 21）、小山田 久 様（S18. 8. 1）

館川勝弘 様（S18. 8. 24）、若木利博 様（S18. 9. 2）

佐久間静夫 様（S19. 3. 28）

(4) 事務局会議

毎月1回、第2木曜日1900からを基準に事務局（自衛隊札幌病院）において各種調整、会誌の準備・発送、役員会の準備等を実施しております。

3 新入会会員（令和4年9月から現時点まで）

落合 斉二 様、糸川 隆之 様、神田 道人 様、四ノ宮 秀人 様、伊藤 弘人 様、
佐藤 拓哉 様

4 令和5年度予定

(1) 新年会

令和6年1月上旬予定

(2) 豊友誌の発行：年2回（8月・1月発行予定）

5 連絡事項

(1) メール連絡網について

メールによる連絡網に加入いただける方は、こちらのアドレス「greerugger3712@yahoo.co.jp」にお名前を記してメールを送信していただきますようよろしくお願いいたします

(2) 豊友会誌への記事投稿についてお願い

豊友会誌への掲載記事を募集しています。A4用紙1枚程度で趣味のお話、経験談、職場の紹介、会員間交流、回顧録等、ジャンルは問いません。情報発信の場として活用していただければと存じます。ふるって御投稿下さい。

投稿記事は、下記にお送りください。会員皆様からの記事の投稿をお待ちしております。

☆投稿方法：事務局員又は自衛隊札幌病院の下記メールアドレスへ送信又は郵送でも可能です。

○札幌市南区真駒内17 自衛隊札幌病院企画室：「saporohosp-na@inet.gsdf.mod.go.jp」

○札幌市豊平区豊平8条11丁目1-1-902 事務局長 小林 誠：「makoharu0904@yahoo.co.jp」

○事務局「会誌、メール担当」：「greerugger3712@yahoo.co.jp」

(3) 会費の納入について

年会費は、口座振込での納入をお願いします。納入口座は郵貯銀行総合口座、口座名「自衛隊札幌病院豊友会」です。年会費：2,000円 振込手数は各自負担でお願いします。

・郵貯銀行からの振込の場合

記号19090 口座番号21181151

・他の金融機関からの振込の場合

店番908 口座番号2118115